



## 第3回学校運営協議会報告

11月8日、第3回学校運営協議会が開催されました。協議内容は以下の通りです。

### 1. 全国大会発表内容の公開

11月17日に横浜開港記念会館で開催される、コミュニティ・スクール全国研修会で実践発表する学校として、横浜から瀬谷さくら小学校が選ばれました。昨年4月に下瀬谷小学校と日向山小学校が再編・統合され、新しく瀬谷さくら小学校が誕生しましたが、懸念された混乱もなく、統合してよかったとみんなが口をそろえています。開校と同時に発足した学校運営協議会が、このことに一役買ったと、横浜市の教育委員会に高く評価されたことを、関係者一同大変喜んでおります。と同時に責任の重さも痛感しています。

発表内容は、①学校運営協議会の設立経緯、②特色ある6つの作業部会の紹介と活動報告、③課題と今後の展望で構成されています。校歌・校章部会の報告時には、こどもたちが歌う校歌もバックミュージックとして入っています。

委員の評価はおおむね良好で、二部合唱の入った珍しい校歌を、もう少し長く、音量も上げて紹介した方がいいとの意見が出されました。

当日の実践発表は、横浜市教育委員会と八嶋学校長、網代会長が行うことになりました。



### 2. 前期学校評価について

6月に実施した学校アンケートの集計結果と講評は、学校便り10月号で紹介されていますが、アンケートの時にいただいた保護者の意見とそれに対する改善内容と併せて、あらためて学校運営協議会に報告されました。また、中期学校経営方針への取組に関する教職員による自己評価と反省、改善案とその実施優先順位に関して説明を受けました。

委員からは、学校アンケート結果に関して、児童と保護者を比較すると保護者の方に「どちらかと言えばそう思う」という回答が多いことに疑問が投げかけられましたが、直接見聞きできない項目にそういう傾向があり、やむを得ないのではないだろうかということになりました。また、先生方の熱心な取り組みに対しては、ねぎらいの言葉が多く出されました。

### 3. 各部会の活動報告

#### 【教育支援部会】

10月25日～28日の4日間、4年生から6年生の算数の補習授業に学援隊を中心に19名（延べ46名）が参加しました。ドリル形式の問題を解く子供たちの中で、戸惑っている子がいればアドバイスする方法で支援を行いました。初日は、こどもたちも支援者も戸惑いがありましたが、翌日にはすぐ慣れ、支援者としてもいろいろ勉強になり、続ければ効果が期待できるのではないかと考えています。

#### 【地域連携部会】

11月12日に予定されているひなた山地区の軽スポーツ大会に、初めて、学校運営協議会から2チーム、8名参加し親睦を深めることになっています。学校教職員も1チーム参加します。

#### 【はまっ子部会】

恒例の芋掘り大会を実施し、こどもたちも大喜びでした。始める前には、放射能測定を行い、安全を確認しました。

#### 【災害からこどもを守る部会】 【学援隊部会】

9月21日の台風15号接近時には、引き取りによる下校を実施しましたが、学援隊により見守りや保護者の車の整理を行いました。

## コミュニティ・スクール全国研修会報告

11月17日、横浜開港記念会館で、文部科学省主催の全国研修会「地域とともにある学校づくり推進協議会」が開催されました。参加者は約500名で、そのうち約150名が地域関係者ということでした。

文部科学省による行政説明、千葉大学教育学部教授・天笠茂氏による基調講演、パネルディスカッションの後、2つの分科会に分かれて事例発表会が行われました。「コミュニティ・スクールの具体的な導入の在り方・充実に向けた方策」と題した第一分科会では、横浜市立瀬谷さくら小学校と東京都世田谷区立希望が丘小学校、「地域との連携による学校運営の充実」と題した第二分科会では、川崎市立上丸子小学校と東京都杉並区立和田中学校による発表が行われました。

ここでは、パネルディスカッションと第一分科会の様子をご報告します。



### パネルディスカッション

三鷹市教育長の貝ノ瀬滋氏、日本大学文理学部教授の佐藤晴雄氏、横浜市立東山田中学校コミュニティハウス館長の竹原和泉氏をパネリストとして、事例紹介と質疑が行われました。



貝ノ瀬教育長からは、学校運営協議会が学校運営や学校教育支援へ参画したことにより、小中一貫教育とあいまって、授業力向上、学力向上、中学生の不登校出現率低下がみられると報告されました。

佐藤教授からは、コミュニティ・スクールの意義として、①来客効果＝来客があると部屋がきれいになる、②客観化効果＝岡目録目、外から見ればよく見えることもある、③創発効果＝三人寄れば文殊の知恵、④効率化＝一人より二人の方がよりよく仕事が進む、ことなどが紹介されました。

竹原館長からは、3つの小学校を含む神奈川県初の東山田中学校コミュニティ・スクールの中核になっているコミュニティハウスが紹介されました。

印象に残ったのは、学校支援地域本部というものがあって、コミュニティハウスがその事務局となっていることです。主な活動は、①学校支援ボランティアの立ち上げなど、瀬谷さくら小学校学校運営協議会でも行っている活動のほかに、②小中学校や地域のイベントを載せたコミュニティカレンダーの作成、③ファンドの立ち上げなどです。学校支援地域本部という名前はわかりやすく、常駐の館長が関わっているのは心強いことです。また、コミュニティカレンダーは、ボランティア募集や集客に役立と思いました。

### コミュニティ・スクールとは

「地方の教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、平成16年9月9日から施行されました。この法律により、保護者や地域住民が学校運営に参画する「学校運営協議会」の設置が可能になりました。

「学校運営協議会」は教育委員会の下部組織として、保護者、地域住民、学識経験者、学校代表などで構成され、法律に基づいた一定の権限と責任をもって、学校運営に関与する役割を担っています。地域のニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、より良い教育の実現に取り組むことを目的としています。

この「学校運営協議会」を設置した学校を「コミュニティ・スクール」と呼んでいます。瀬谷さくら小学校も昨年4月、開港と同時にこの「コミュニティ・スクール」に指定されました。

市民のクラブ活動支援や市民図書室を運営し、地域交流に貢献しているコミスクと同じ呼称ですが、東山田中学校のように、従来からのコミスクをコミュニティ・ハウスと呼んでいるところもあります。

## 第一分科会

第一分科会では、パネリストでもあった三鷹市教育委員会教育長の貝ノ瀬茂氏をコーディネーターに、横浜市教育委員会と東京都世田谷区教育委員会が事例発表を行いました。

横浜市では教育委員会の藤城主任指導主事が、市立学校の現状と



地域とともにある学校づくりへの取り組みについて説明した後、やや緊張気味の八嶋校長と網代会長が、

**共に学び、共に創る地域の学校「瀬谷さくら小学校」～みんなの力で守り育てよう瀬谷さくら小学校・さくらの子～**をスローガンにした、瀬谷さくら小学校学校運営協議会の特色と活動内容について詳しく説明を行いました。下の写真は、当日、発表に使った資料からの抜粋です。



### 瀬谷さくら小学校 開校

- 下瀬谷小学校+日向山小学校=瀬谷さくら小学校
- 平成22年4月1日 2校の再編統合により開校

- 児童数 423名
- 学級数 16学級
- 横浜の西部に位置する元気な学校

### 校歌・校章部会

児童・保護者・地域・教職員の想いを形に

### 学援隊

- 児童の登下校時の安全見守り
  - 120名の隊員
  - あいさつでつなぐ地域交流
  - 青バトが地域防犯に貢献

### 地域連携部会

- 学校、家庭、地域の連携
  - 瀬谷さくら小学校交流会
  - 瀬谷さくら小学校地域夏祭り
  - 自治会同士の交流にも一役

### 教育支援部会

学習ボランティアのコーディネート

### 児童を災害から守る検討部会

地域の防災力で児童を守る

地域にあった防災意識

世田谷区立希望が丘小学校の発表では、東日本大震災の経験と教訓を踏まえて、防災拠点としての避難所運営の見直しや宿泊訓練など、防災を中心にした取り組みが紹介されました。

最後に質疑が行われ、想定に反して、「教育の目的は?」とか「学校運営協議会の権限について」とか難しい質問が相次ぎました。今年の全国研修会は、横浜のほか熊本、新潟などでも開催されていますが、質問者の自己紹介によると遠く三重県などからも参加されたようです。



## ポスターセッション

会議と並行してポスターセッションも開かれ、瀬谷さくら小学校からも、学校運営協議会の各活動部会の紹介を行いました。他には、東京都東村山市教育委員会、横浜市教育委員会、福島県三春町立三春小学校、川崎市立上丸子小学校、東京都世田谷区立希望が丘小学校がポスターの展示を行いました。

## さくら小地域夏祭り



7月16日、17日の両日、瀬谷さくら小学校校庭で、瀬谷さくら小学校区交流会主催のさくら小学校地域夏祭りが開催されました。

今年も合計8店舗（下瀬谷自治会、南瀬谷ニュータウン自治会、下瀬谷団地自治会、下瀬谷第三町内会、ひなた山地区自治会連絡協議会、PTA、PTA・OB、学校教職員）が出店し、焼きそばやラムネ、かき氷、和風スイーツ、フライドポテトなどの飲食物の販売や、金魚すくい、まとあてなどのゲーム、バルーンアートの手作り教室など、合計25品目にのぼる商品販売を行いました。

ひなた山地区が加わって2年目になりますが、昨年にも増して大勢の人でにぎわい、一時は人をかき分けて歩くほどの盛況でした。準備していた商品を早々と完売する店舗が出るなど、各店舗とも大繁盛でした。

夜の盆踊り大会は、下瀬谷自治会、南瀬谷ニュータウン自治会、ひなた山地区協会の、太鼓の会や婦人部の皆さんのリードで賑やかに行われました。今年は祭りに先立って、学習指導の一環として、地域の踊りの先生による1年生への盆踊りの指導も行われ、本番でもその成果が存分に発揮されました。輪になって踊ることもたちの楽しそうな笑顔がとても印象に残りました。

### 節電対策

3月の東日本大震災による、福島第二原子力発電所事故にともなう節電に協力するため、次のような対策を実施しました。

1. 白熱電球の使用はやぐら周りの提灯だけにとどめ、本部や各売店の照明には蛍光灯型電球を裸で使用する。
2. 各売店で照明以外に電気を使用する場合は発電機を使う。
3. 照明は明るいうちは使用しない。

これらの対策により、前年度比30%以上の節電を実現しました。

併せて、この夏祭りの収益金の一部を東日本大震災の義援金として寄付いたしました。



## 9都県市合同防災訓練

9月1日の防災の日を前に、8月28日、瀬谷さくら小学校地域防災拠点の秋季防災訓練が実施されました。今年は、9都県市合同防災訓練や横浜市総合防災訓練の訓練場所にも指定され、防災拠点運営委員会（網代宗四郎委員長）や学校、地域関係者による周到な準備のもと、大がかりな訓練が行われましたので、その内容をご紹介します。

訓練は、70%ぐらいの確率で発生するといわれている「相模トラフを震源とするマグニチュード7.9、市内最大震度7の地震が発生し、特に瀬谷区内の被害は甚大で、家屋の倒壊や道路の損壊をはじめ、電気、ガス、水道等のライフラインにも大きな被害が発生、各所で火災が発生し多数の死傷者が出ている」ことを想定して行われました。



### 林 横浜市長も激励に



訓練には、下瀬谷自治会、南瀬谷ニュータウン自治会、下瀬谷団地自治会、下瀬谷第三町内会、各自治会・町内会の家庭防災員、瀬谷さくら小学校の児童、教職員、瀬谷消防団第二分団第一班、瀬谷区役所、瀬谷消防署、瀬谷警察署、神奈川救助犬ネットワーク、東京ガスなど800名余りが参加し、瀬谷第二地区の自治会長・町内会長などの来賓が見守る中、粛々と行われました。また、横浜市の林市長や瀬谷区の外ノ池区長も駆けつけ、簡易トイレの組み立て訓練やAED（体外式除細動装置）の取り扱い訓練などを視察され、係員の説明に熱心に耳を傾けておられました。

訓練などを視察され、係員の説明に熱心に耳を傾けておられました。



### 救助犬の生体探索訓練

NPO法人「神奈川救助犬ネットワーク」（渡辺登志男代表）により、ジャーマン・シェパードのコピッテ号とロイ号、2頭の災害救助犬を使った訓練が披露されました。

サポーターの指示通りに動く服従訓練、障害物を飛越す幅跳び訓練、がれきに埋まった人を探す探索訓練、荷物などを犯人から守る防御訓練などが披露されました。

探索訓練では、警察犬による犯人追跡と違って、不特定の人を探します。ちなみに、当日の訓練では下瀬谷自治会の男性一人が発見されました。



## 第2回 学習発表会

11月19日、体育館で、「すてきな笑顔、心と心で伝え合おう」をスローガンに、本年度第二回の学習発表会が行われました。一年生から六年生までの全員が参加して、それぞれがこれまで学んできたことをモチーフに、元気よく発表を行いました。



と掛け合いをする楽しい発表になりました。

**1年生**は、校庭での体操の時間に見つけた白いくじら雲と一緒に体操をしているように見えて、あの雲と友達になって一緒に空を飛んでみたいと思うようになります。みんなが「心を一つにして、一、二、三」とジャンプしたら雲に乗ることができて、冒険が始まりました。さくら小学校の上空では、学援隊の人を見つけて、実際に客席の学援隊の人たち



**2年生**は、「うたって思い出そう2年生の笑タイム」と題して、歌と楽器演奏で、学校や校外学習などでの楽しかった思い出を表現しました。



**3年生**は、「とどけよう、やさしい言葉」と題して、金子みすずの詩を題材にして発表しました。詩の世界を表現するのが、とても難しかったようです。



**4年生**の発表は社会科です。道志川の水源から浄水場を経て瀬谷さくら小学校の蛇口に至る、横浜の水が作られる過程を歌と物語で表現しました。



**5年生**の発表は英語です。教室で先生役の児童が英語で話しかけ、生徒がそれに英語で答えたり、まちへ出て英会話をし



たりする様子を楽しく表現しました。「Oh! No!」が印象的でした。

**6年生**は、日光東照宮への修学旅行で徳川家康を説明する一コマ。戦国時代から江戸時代までの歴史を、長篠の戦いや忍者のアクロバット演技、白波五人男が登場する芝居などで、とても分かりやすく演じてくれました。

全体を通して、それぞれの学年に応じた、見ごたえのある学習発表会でした。

【今後の予定】 ・横浜教育実践フォーラム 平成24年1月28日（土曜日）

### 【編集後記】

会社を退職した翌年に、たまたまお鉢が回ってきた役員から町内会長になったのがきっかけで、学校行事にも参加させていただくようになりました。最初は何もわからなかったのですが、再編・統合、学援隊、学校運営協議会、学習支援、コミュニティ・スクールの研修会、学習発表会などに参加して、最近ではそれらが自分自身の成長に役立っていることを痛感しています。また、この学校運営協議会だよりの編集は、掲載する行事を振り返り、考えるいい機会にもなっています。

今、学校では、補習授業やクラブ活動で先生方をサポートする、学習支援に力を入れています。読者の皆さんも是非参加してみたいはかがでしょうか。

(西村)

学校運営協議会だより  
平成23年度・第2号

平成23年12月21日  
横浜市立瀬谷さくら小学校  
学校運営協議会  
発行責任者  
会長 網代宗四郎  
編集  
広報・学校評価部会